

<資料 2-2>

いじめ問題の指導に関する個人点検のためのチェックシート

| | | | |
|----|--|----|--|
| 職名 | | 氏名 | |
|----|--|----|--|

| No | 点 検 項 目 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|----|---|---------|-----------|-----------|--------|
| | | 十分できている | ある程度できている | あまりできていない | できていない |
| 1 | 「いじめは決して許されない」との強い認識に立って指導にあたっている。 | | | | |
| 2 | いじめ防止対策推進法(第2条)における「いじめの定義」を理解している。 | | | | |
| 3 | 日常の教育活動を通じて、生徒の好ましい人間関係の醸成を図っている。 | | | | |
| 4 | 授業やホームルーム活動等の特別活動を通して、いじめ問題に関わる内容を取り上げ、指導している。 | | | | |
| 5 | 生徒が発する小さなサインを的確にとらえるとともに、いじめの訴えがあったときは、問題を軽視することなく対応している。 | | | | |
| 6 | 生徒の生活実態の把握に係る個人面談やアンケート調査等を実施した際、その内容の整理・点検等について、当日のうちに処理するようにしている。 | | | | |
| 7 | いじめを認知したときには、管理職及びいじめ問題対策委員会の担当教員に当日のうちに報告するなど、情報共有し、対応している。 | | | | |
| 8 | いじめ問題への対応にあたって、養護教諭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部専門家と連携している。 | | | | |
| 9 | 保護者や地域に対して、いじめ問題の重要性を伝えるとともに、保護者面談や家庭訪問、学級通信などを通じて、家庭との緊密な連携協力を図っている。 | | | | |
| 10 | いじめが解決したと思われる場合でも、日常のきめ細かな観察や個人面談の実施など、継続的な支援・指導を行っている。 | | | | |

※ ○月○日(○)まで、担当(○○)へ提出願います。